広報なばり
市政と暮らしを結ぶ情報紙
2－1号 No.1189
毎月2回発行
市公式サイト HP
2019年（平成31年） 2月10日号

主な内容

1～2……ゆめをカタチに　3……「市民農園」入園者募集
4……小中学校の規模・配置の適正化後期実施計画（案）
7……施設ご利用ガイド　8……3月の相談日程

発行／名張市秘書広報室　〒518-0492 名張市鴻之台1-1　☎0595－63－7402　FAX 0595－64－2560　pr@city.nabari.mie.jp

よりよい地域にするために　15地域のまちづくり

ゆめをカタチに

市内にある15の地域づくり組織では、地域の将来像をまとめた地域ビジョンを実現するために地域と市が協働で取り組む、ゆめづくり協働事業などさまざまなまちづくりが行われています。
今号では、各地域づくり組織が実施した事業の一部を紹介します。

問 地域経営室 ☎63－7484

桔梗が丘自治連合協議会

学校と連携し里山の大切さを学ぶ

自然と触れ合う機会が少なくなった子どもたちに、里山の役割や価値について知って欲しいと、地域にある桔梗小、桔梗南小、桔梗東小と連携しながら、「子どもたちと地域の絆づくり事業」として自然体験学習を行っています。平成29年から始めてこれまで2回実施しました。毎回約100人の子どもたちが地域に隣接する里山へ入り、「この木は昔、何に利用されていたでしょうか」などといったクイズをしながら自然について学びます。

この取り組みでは、毎回50人ほどの地域住民がボランティアで子どもたちと一緒に山に入り、自然についての指導や道案内にあたっています。

この行事を通して、子どもたちが身近な自然の大切さを学び、地域の人たちとの交流の場として定着しつつあります。

赤目まちづくり委員会

大学と連携した健康づくり

▲ 栄養バランスを考えた料理教室

自身の健康を記録するノートを作成▶

地域における健康づくりを研究テーマとする三重大学の医学部と市、まちづくり委員会が連携して、赤目地域の健康づくりプロジェクトを進めています。

昨年11月のキックオフイベントでは参加者の体力測定を実施し、その結果を基にしながら、今後1年間で健康教室や栄養バランスを考えた料理教室、運動教室などを実施していきます。また参加者の健診や測定の結果、各教室の参加状況などを自身で記録していく予定です。このプロジェクトの取り組みが、どれだけ健康に有益かどうかを科学的に検証していきます。

つつじが丘・春日丘自治協議会

「みんなの居場所」づくり

つつじっ子会議では市民センターで朝食づくりをしました。▶

◀さまざまな団体が集まって、みんなの居場所づくりを検討

「高齢者だけの家庭では、カレーを作る機会が少ないのでは」と思ったことをきっかけに始まった昼食にカレーを振舞う高齢者サロン「カレー亭」や、子育ての先輩ボランティアたちが乳幼児やママを見守る「おじゃまる広場」、小中学校の児童・生徒を対象にした「つつじっこ会議」では小中一貫教育と世代間交流を併せた活動を行っています。

これからも、あらゆる世代が気軽に参加できる機会や場所「みんなの居場所」を作ろうと検討しています。各種団体や学校、行政と意見交換を行っていきます。

2ページへ続く

地域づくり代表者会議 実践交流会の開催

ゆめづくり協働事業など地域の取り組みを発表します。 **日時** 2月23日㈯ 午後1時～4時30分 **場所** 教育センター（百合が丘西5）
今回発表する地域 すずらん台町づくり協議会、箕曲地域づくり委員会、薦原地域づくり委員会 ◎参加無料。申込不要